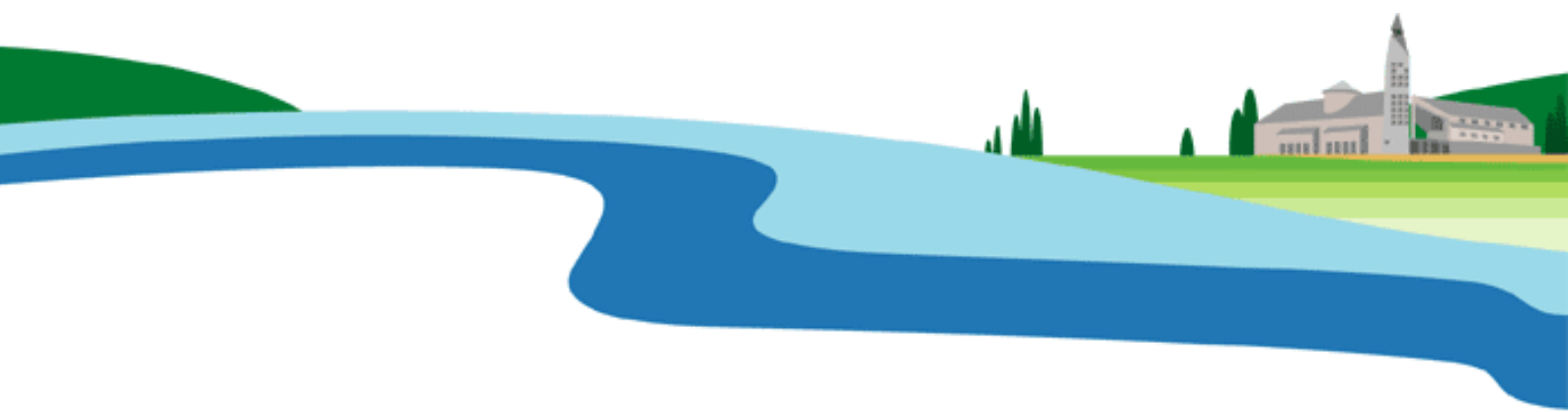




滋賀県立大学 2025年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係ですべての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、本学の学習管理システムUSPo(<https://www.usp.ac.jp/gakubu/edu/syllabus/>)で、ご確認ください。

科目授業名	授業代表教員氏名		ページ数
生活と健康	下通 友美	・ ・ ・ ・ ・	1
生命・人間・倫理	糸島 陽子	・ ・ ・ ・ ・	5
農業と環境A	須戸 幹	・ ・ ・ ・ ・	8
比較住居論	藤木 庸介	・ ・ ・ ・ ・	11
憲法	橋本 豪志※	・ ・ ・ ・ ・	14
異文化理解A	真島 アマンダ	・ ・ ・ ・ ・	17

授業コード	1150225	ナンバリング番号	101HUM178
授業科目名	生活と健康		
授業科目名（英文）	Life and Health		
副題	健全な日常生活を生きる	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2025年度前期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	下通 友美、渡邊 友美子、千田 美紀子、岡崎 瑞生、中川 美和、川端 智子、馬場 文、小野 あゆみ、生田 宴里、玉川 あゆみ、松井 宏樹、松原 千晴		
実務経験/実践教育	看護師としての勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	人間の健康について多角的に捉え、発達過程や様々な生活環境と健康との関連性を振り返り、自らの生活をより健康的に整えられるための工夫を検討する。 人間看護学部教員によるオムニバス形式の授業で、各回異なるテーマで講義を行う。		
到達目標	(1) 生活習慣と健康との関連性を理解する (2) 自らの生活習慣を健康の視点から振り返り、問題点を検討することができる (3) 健康的な生活に向けて、行動変容をおこすことができる		
学位授与方針との対応			
概要		能力	比重
人間の心身および人間と自然や社会とのかかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。		知識・理解	◎
人間や社会を深く見つめ、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける。		思考・判断	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	授業ガイダンス / 健康とは何か / 飲酒：大学生と飲酒	WHOの健康の定義をふまえ、健康とは何かについて考えを深める。また、大学生の飲酒行動を取り巻く環境やその影響について理解し、適切な飲酒行動をとるための知識を身に着ける。(担当：生田宴里)	目安時間	2
・・・予習内容	「健康」とはどのような状態ことか、自身の考えをまとめておく。 また、大学生の飲酒にともなうリスクや適切な飲酒行動について調べ、考える。		目安時間	2時間
・・・復習内容	授業や資料の内容を振り返り、レポート課題に取り組む。(Formsで提出)		目安時間	2時間
第 2 回授業内容	プレコンセプションケア①：性の健康について考える～妊孕制性と性感染症～	将来の自分とパートナーのために、性感染症に関する知識を深め、性感染症の予防行動をとることができるようにする。(担当：渡邊友美子)	目安時間	2
・・・予習内容	インターネット・書籍等で性感染症について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義受講後の性感染症に対する考えについてレポートする (FORMS)。		目安時間	2
第 3 回授業内容	プレコンセプションケア②：性の健康について考える～予期せぬ妊娠とDV～	パートナーとの良好な関係性についての理解を深め、自身の心と体を守るための方法について学びを深める。(担当：渡邊友美子)	目安時間	2
・・・予習内容	インターネット・書籍等でDVについて調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義受講後の予期せぬ妊娠とDVに対する考えについてレポートする (FORMS)。		目安時間	2
第 4 回授業内容	プレコンセプションケア③：性の健康について考える～女性ホルモンと女性の健康課題～	女性は、女性ホルモンに左右されながら生活を送ることを理解し、男女ともに女性性の特徴を知り、女性の健康課題について学びを深める。(担当：渡邊友美子)	目安時間	2

・・・予習内容	インターネット・書籍等で女性ホルモンについて調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義受講後の女性の健康に関する考えについてレポートする（FORMS）。		目安時間	2
第5回授業内容	感染症・予防接種：免疫のある体をつくる	感染と感染症の違いを理解し、感染症の現状について学ぶ。感染症が生じるメカニズムや感染症の種類、感染症に対する予防法について理解し、免疫のある体のつくり方について学びを深める。（担当：玉川あゆみ）	目安時間	2
・・・予習内容	感染症に対する今までの自分自身の考えと行動について意見をまとめておく。		目安時間	2
・・・復習内容	自分自身のワクチンに対する考えについて述べる。（Formsで提出）		目安時間	2
第6回授業内容	超高齢社会にむけた社会を作る①：高齢者の理解と接し方	加齢に伴う身体・心理・社会的変化を理解し、高齢者との接し方について考える。（担当：松井宏樹）	目安時間	2
・・・予習内容	加齢に伴う身体・心理・社会的変化について書籍やインターネットで調べておく。		目安時間	2
・・・復習内容	授業や配布資料の内容をふまえて、レポートに取り組む（UNIPA-USPo）。		目安時間	2
第7回授業内容	超高齢社会にむけた社会を作る②	高齢者が参画可能な社会の構築を目指したまちづくりについて考える。（担当：岡崎瑞生）	目安時間	2
・・・予習内容	高齢者の社会参画（参加）について、書籍等で調べておく。		目安時間	2時間
・・・復習内容	授業内容を踏まえて、高齢者が参画可能な社会の構築を目指したまちづくりについて考察し、記述する。（Formsで提出）		目安時間	2時間
第8回授業内容	依存症：依存症（アディクション）について知る	まず、依存症にはどのようなものがあるのか理解する。次に、依存症の対策にどのようなものがあるのかについても考える。（担当：下通友美）	目安時間	2
・・・予習内容	新聞やニュース等から依存症に関連する記事や話題をひとつ読んでおく。		目安時間	2
・・・復習内容	講義を聞いて自らが興味をもった依存症について調べ、依存症の当事者の体験を調べて感想をレポートで提出する。（Formsで提出）		目安時間	2
第9回授業内容	喫煙：ニコチンに依存しない体をつくる	喫煙および受動喫煙による身体への影響を理解する。喫煙に対する日本の政策および世界の政策から日本での喫煙対策について考える。（担当：川端智子）	目安時間	2
・・・予習内容	生活の中で身近にあるタバコについての情報を注意深く観察する。喫煙に関する自分の意見をまとめておく。		目安時間	2
・・・復習内容	授業内容をふまえて喫煙および受動喫煙から自分で身を守る方法について具体的に考え、述べる。（Formsで提出）		目安時間	2
第10回授業内容	運動：健康なところとからだをつくるための運動	運動がところとからだに与える影響について理解する。健康なところとからだをつくるための自身の運動について考える。（担当：小野あゆみ）	目安時間	2
・・・予習内容	自身が日常生活で行ってる運動について、頻度や運動時間を振り返っておく。運動がところとからだにどのように影響するのか、インターネットや書籍で調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	授業内容や資料を振り返り、自身の今後の運動についての考えを記述する。（Formsで提出）		目安時間	2
第11回授業内容	食生活：健康なところとからだをつくるための食生活	健康に必要な食生活、特に食事やサプリメントなどが食生活にどのような影響を与えるか理解する。（担当：中川美和）	目安時間	2
・・・予習内容	自身のこれまでの食生活を振り返り、健康と食生活の関連を考える。		目安時間	2
・・・復習内容	授業内容や資料を振り返り、レポート課題に取り組む。（Formsで提出）		目安時間	2
第12回授業内容	リラクセーション：健康なところとからだをつくるためのリラクセーション	人はリラクセーション法を行うことにより、身体の自然なリラクセーション反応を意識的に引き起こす。そのリラクセーション反応が健康にどのように影響するのかを理解する。（担当：千田美紀子）	目安時間	2
・・・予習内容	ストレスやリラクセーションに関連する書籍を読んだり、インターネットで検索したりすることで、リラクセーションの実際に触れておく。		目安時間	2
・・・復習内容	授業時に提示したリラクセーション法のうち、一つを選び実践をし、Formsにて実践報告を行う。		目安時間	2
第13回授業内容	ストレス：ストレスにどう対応すれば良いのか	ストレスにどのように対応すれば良いのか、ストレス関連概念やマネジメント技法について考える。（担当：下通友美）	目安時間	2

・・・予習内容	これまでの人生史のなかのストレス体験とその対処について振り返りをしておく。		目安時間	1
・・・復習内容	紹介した技法を実践し報告する（Formsで提出）		目安時間	3
第14回授業内容	地域でつくる健康①：ヘルスプロモーションと健康	ヘルスプロモーションとは何か、身近な地域で展開されているヘルスプロモーションの実際について具体例を用いて示す。そして、ヘルスプロモーションと人々の日常生活や健康づくりとの関連について理解を深める。（担当：馬場文）	目安時間	2
・・・予習内容	「健康日本21計画」、WHOオタワ憲章などについて予習し、ヘルスプロモーションの考え方について触れておく。		目安時間	2時間
・・・復習内容	自分の身近なところで展開されているヘルスプロモーションの取り組みについて調べたことを記述する。（Formsで提出）		目安時間	2時間
第15回授業内容	地域でつくる健康②：ヘルスリテラシーの向上	ヘルスリテラシーとは何か、そしてそれを向上させるためにどのような方策があるか、について理解を深める。さらに各自のヘルスリテラシーの向上に役立てることを目指す。（担当：馬場文）	目安時間	2
・・・予習内容	ヘルスリテラシーについて、第14回授業で紹介するインターネットサイトや図書を用いて触れておく。		目安時間	2時間
・・・復習内容	ヘルスリテラシーの向上をめざして、自分自身でどのようなことができるか、考え記述する。（Formsで提出）		目安時間	2時間
学修時間合計・・・			90	

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	レポートを課す授業は10回。どの回でレポートを課すかについては、初回の授業ガイダンスで示す。1回の評価割合を6%とし、レポート課題による評価割合は、6%×10回＝60%となる。
上記以外	30	小テストを行う授業は5回。どの回で小テストを行うかについては、初回の授業ガイダンスで示す。1回の評価割合を6%とし、小テストによる評価割合は、6%×5回＝30%となる。 また、全講義に出席し、出席（レスポンス）カードを全ての講義終了時に提出した場合は、10%分加点する。
ループリック添付ファイル	無	
成績評価備考	3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。 毎授業で小テストまたはレポートを課し、評価を行う。 この小テストやレポートにはFormsまたはUNIPA-USPoを使い、スマートフォンやパソコンでの提出・回答を求める。 Formsのアクセス先URLは、各回授業ごとに各教員から提示またはUSPoで配信する予定である。	
その他授業外学習	配布資料を復習して、自分自身の健康管理や日常生活に役立てていくことを期待しています。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考	毎回の授業で資料配布する（紙および電子）			

前提学力等	特になし
履修資格	
授業の参考となるサイト	適宜授業で紹介する

担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	若い皆さんであるからこそ、自身の「健康」について真剣に考えていただきたいと、思っております。 （担当教員一同）
関連する画像・文章・動画 URL	

授業コード	1150230	ナンバリング番号	101HUM154
授業科目名	生命・人間・倫理		
授業科目名（英文）	Life, Human being and Ethics		
副題	人間の尊厳と権利	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2025年度後期
授業形態		アクティブラーニング	有
プレゼンテーション	板書／パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	糸島 陽子、本田 可奈子		
実務経験/実践教育	看護師としての勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	人間の生命の尊厳と権利の尊重についての基本的な考え方、倫理原則、倫理理論を学ぶ。また、現代の生命倫理・医療倫理に関する具体的な問題や課題に視点を当て、看護の立場から適切な判断や解決の方略を考える。		
到達目標	（１）現代社会における倫理的課題とその解決方略について説明することができる。 （２）人に対する深い洞察力を持ち、人の尊厳と権利を擁護について説明することができる。		
学位授与方針との対応			
概要	能力	比重	
主体的に取り組む姿勢と、他者に共感・協調する態度を兼ね備え、人間の尊厳と権利を擁護する基本的な倫理観を備えている。	態度・倫理	○	

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	現代社会と倫理	生命倫理・医療倫理の歴史的背景を紹介し、現代社会における倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	現代社会における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討論をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 2 回授業内容	倫理原則・倫理綱領	倫理原則・倫理綱領を紹介し、生命の尊厳と権利の尊重について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	倫理原則・倫理綱領について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 3 回授業内容	介護ロボットと倫理	DVDを視聴後、医療・介護におけるロボットの活用について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	医療・介護におけるAI・ロボット導入の現状と倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 4 回授業内容	災害と倫理	災害における命の優先度、および医療者の責務について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	災害における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 5 回授業内容	生殖補助医療と倫理	生殖補助医療の必要性和倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	生殖補助医療の倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2

第 6 回授業内容	子どもの医療と倫理	子ども権利と親権、インフォームド・アセントについて紹介し、子どもの最善の利益について考える。	目安時間	2
・・・ 予習内容	子どもの医療における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 7 回授業内容	臓器移植と倫理	脳死・死の定義、臓器移植の現状を紹介し、移植医療をめぐる倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・ 予習内容	臓器移植における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 8 回授業内容	終末期医療と倫理	尊厳死・安楽死の定義について紹介し、死ぬ権利、医師による自殺幫助について考える。	目安時間	2
・・・ 予習内容	尊厳死・安楽死について調べる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第 9 回授業内容	高齢者医療と倫理	高齢者医療における倫理的課題を紹介し、高齢者の尊厳と権利の尊重について考える。	目安時間	2
・・・ 予習内容	高齢者医療における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第10回授業内容	もしバナゲーム	もしバナゲームをとおして自己のアドバンス・ケア・プランニングについて考える。	目安時間	2
・・・ 予習内容	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の現状について調べる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	講義や討議をとおして、本時の学びと自己のACPについてまとめる。		目安時間	2
第11回授業内容	看護倫理	看護専門職における倫理綱領の必要性を踏まえ、「看護職の倫理綱領」について理解する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	第1回から第10回までの授業をふりかえってくる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	本時の学びをもとに自分の考えを整理する。		目安時間	2
第12回授業内容	事例検討の方法	倫理分析の手法について学ぶ	目安時間	2
・・・ 予習内容	事例のテーマを事前に伝えるため、それに関連する基礎知識について読み込んでくる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	本日の学びをもとにテーマに関連する自分の考えを整理する。		目安時間	2
第13回授業内容	事例検討①	事例をもとに倫理的判断を考察する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	事例のテーマを事前に伝えるため、それに関連する基礎知識について読み込んでくる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	本日の学びをもとにテーマに関連する自分の考えを整理する。		目安時間	2
第14回授業内容	事例検討②	事例をもとに倫理的判断を考察する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	事例のテーマを事前に伝えるため、それに関連する基礎知識について読み込んでくる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	本日の学びをもとにテーマに関連する自分の考えを整理する。		目安時間	2
第15回授業内容	事例検討③　まとめ	事例を通して看護実践における倫理的視点を整理し、倫理的行動に対する自己の課題を考察する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	第11回から第14回の授業を振り返り、疑問となった事象についてまとめてくる。		目安時間	2
・・・ 復習内容	全15回の授業を振り返り、生命倫理について考察を深め、自己の学習課題を整理する。		目安時間	2
学修時間合計・・・			90	

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	1回～10回：課題レポート50点 11回～15回：課題レポート①10点、課題レポート②20点
上記以外	20	1回～10回：ミニ討議・コメント：20点（2点×10回）

ループリック添付ファイル	無
成績評価備考	毎回ミニ討議を行うため、遅刻・欠席は評価の対象とします。
その他授業外学習	講義に関する項目について事前学習の上、参加してください。

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考	講義中に紹介します。			
	看護職の倫理綱領（2021） https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf			

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	
関連する画像・文章・動画URL	

授業コード	1150456	ナンバリング番号	
授業科目名	農業と環境A		
授業科目名（英文）	Agriculture and Environment A		
副題	農業と環境	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2025年度後期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	須戸 幹		
実務経験/実践教育	滋賀県の農業、畜産業、水産業に関する行政の現状と課題について現場に関わる滋賀県職員の方々から話を聞いている。		

シラバス

授業概要	農業による農産物の生産は、水資源や水環境、生態系に大きな影響を及ぼしており、地球温暖化の一因となっていることも指摘されている。そこで、食糧生産の手段である農業を持続可能とするためには、環境と調和した農業のあり方を考える必要がある。 本講義の前半では、地球規模の環境問題と農業の関わり、および滋賀県やその周辺の事例に基づいた水稲、畑作、畜産における生産方法と科学的見地からみた農業の環境への影響について概説する。 後半では、滋賀県庁、農業経営者、流通販売関連産業の従事者（予定）を講師に招き、農業生産の現場とともに農業がかかわる行政、流通、経済の実際を学ぶ講義を数回実施する。	
到達目標	1. 農業生産のシステム、農業と環境との関わりを科学的知見から説明できる。 2. 実際の農業現場の実状を知り、農業を持続的に行うための方法を説明できる。	
学位授与方針との対応		
概要	能力	比重
人間の心身及び人間と自然や社会のかかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	◎
市民としての責任感と倫理観を身に付ける。	態度・倫理	○
人間や社会を深く見つめ、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける。	思考・判断	○
地域の現実的な課題を解決するために必要な素養と態度を身につける。	態度・倫理	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	講義の概要説明・農業と環境とのかかわり	序論として農業と環境との関わりについて歴史的な視点から概説する。	目安時間	2
・・・予習内容	シラバスを十分読み込んでおいてください。		目安時間	2
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	2
第 2 回授業内容	農業と地球規模の環境問題	農業と地球規模の環境問題（温暖化、砂漠化、森林破壊など）の関わりについて述べる	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第 3 回授業内容	農業と水資源問題	農業と世界的な水資源問題について説明する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第 4 回授業内容	水田稲作の仕組み	水田における水稲栽培方法および環境の関わりを説明する。	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4

第 5 回授業内容	畑作農業と環境	野菜を中心にした畑作物の栽培方法および環境の関わりを説明する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第 6 回授業内容	農業と水域の富栄養化	農業由来による水質の富栄養化について述べる	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第 7 回授業内容	農薬の環境問題	農薬による環境汚染問題、生態系への影響について説明する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第 8 回授業内容	畜産と環境	畜産に関わる環境問題について説明する。	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第 9 回授業内容	滋賀県における農地整備と環境保全対策	滋賀県での農地整備（圃場整備）と環境保全対策の歴史と現状について学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第10回授業内容	滋賀県における農業経営	滋賀県における農業と農業経営の実態について学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第11回授業内容	滋賀県における水産業と環境	滋賀県における畜産および水産業の歴史と現状について学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第12回授業内容	滋賀における農業の実践（１）	滋賀県内における農産物の生産、流通、販売などの実践について学ぶ（外部講師予定）	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第13回授業内容	滋賀における農業の実践（２）	滋賀県内における農産物の生産、流通、販売などの実践について学ぶ（外部講師予定）	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第14回授業内容	滋賀県内の農産物流通の実際	県内の流通販売等の関連産業従事者を講師に農業の現場を学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・ 予習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第15回授業内容	全体のまとめ、これからの持続可能な農業を目指して	これまでの講義全体のまとめを通して、持続可能な農業のあり方を考える。	目安時間	2
・・・ 予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・ 復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
学修時間合計・・・			90	

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	0
レポート課題	100	毎回、講義内容などに関する宿題（レポート）提出してもらいます。その内容によって評価します。
上記以外		
ループリック添付ファイル	有	
成績評価備考	出席回数が全体の2/3未満の者は評価対象外とする。	
その他授業外学習		

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	外部講師の都合で講義の順番や内容が一部変更になることがあります。
関連する画像・文章・動画URL	

授業コード	1150460	ナンバリング番号	101HUM1761,133RED101,135LAH206
授業科目名	比較住居論		
授業科目名（英文）	Comparative Study of House Design		
副題	住まいが果たえる世界のくらし	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2025年度前期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	パワーポイント／ハンドアウト配付／その他		
担当教員	藤木 庸介		
実務経験/実践教育	一級建築士の教員が指導する科目		

シラバス

授業概要	世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。
到達目標	(1) 世界の多様な住居のあり方を理解し、事例を挙げて説明ができる。 (2) 人々の生活と住居構成に関する相関性を理解し、説明ができる。 (3) 様々な居住文化のあり方に対して、自らの生活を相対化して位置づけられる。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
各地の居住文化について、人の生活や社会的拝見との関連を鑑みた上で理解することができる。	知識・理解	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	イントロダクション	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等を解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第 2 回授業内容	住居構成の基礎	建築物の構造や素材といった、住居構成の基礎的な仕組みについて解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	
第 3 回授業内容	中国の住居（1）	中国中原、並びに南方の四合院における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第 4 回授業内容	中国の住居（2）	中国中原における窑洞の居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第 5 回授業内容	中国の住居（3）	中国内モンゴル自治区におけるゲルの居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	

・・・復習内容			目安時間	
第6回授業内容	東アジアの住居	台湾北部の山岳少数民族地域・他における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第7回授業内容	世界のトイレ事情・世界のスラム事情	世界におけるトイレ文化、スラム街とそこでの暮らしについて解説する。 第1回目の小テストを行う。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第8回授業内容	東南アジアの住居（1）	フィリピン北部の山岳少数民族地域における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第9回授業内容	東南アジアの住居（2）	インドネシア北部の山岳少数民族地域における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第10回授業内容	南アメリカの住居	ペルー・ティティカカ湖の浮島における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第11回授業内容	インドの住居	インド北部・ヴァーラーナシーにおける居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第12回授業内容	西アジアの住居	かつてイラクにあった家族島における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第13回授業内容	アフリカの住居	アフリカ北部の居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第14回授業内容	イギリスの住居	イギリス・コッツウォルズの居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第15回授業内容	まとめ	本講義の総括を行い、居住文化と住居構成の多様性について考察を行う。 第2回目の小テストを行う。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
学修時間合計・・・			30	

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等

定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に挙げた(1)(2)(3)の内容を包含した小テストを2回行い評価する。 成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。
ループリック添付ファイル	有	
成績評価備考	やむを得ない事由により小テストを欠席する場合には、必ず事前に申し出ること。 また、当日の急病等によって事前の申し出ができずに欠席した場合には、病状に関する診断書を提出すること。 上記以外により小テストを欠席した者は、単位取得を認めない。	
その他授業外学習	教科書、並びに授業で配布されるプリントを復読することが望ましい。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
住まいがたえる世界のくらし	藤木庸介	世界思想社	978-4-7907-1689-1	
教科書備考	教科書は第4回目の授業から使用する。 それまでに用意すること。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考	教科書に記載の無い講義内容については、プリントを配布する。			

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	本講義の定員は、原則130名とする。 定員を超える受講希望者があった場合には、レポート課題により受講者の選考を行う。 レポート課題は第1回目の授業時に出题するので、本講義の受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席すること。 第1回目の授業に出席しなかった者、並びに、レポート課題を別途指定する締め切り期日までに提出しなかった者については、受講者選考の対象としない。 受講者の選考結果については、第2回目の授業日前日までに、掲示、並びに、USPoに掲載する。
関連する画像・文章・動画URL	

授業コード	1600320	ナンバリング番号	101HUM119
授業科目名	憲法		
授業科目名（英文）	The Constitution of Japan		
副題		旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2025年度後期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	板書		
担当教員	橋本 豪志※		
実務経験/実践教育	弁護士事務所での勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	人権と統治機構という憲法の基本構造を理解する。その上で、一国民としての個人が、国政を考えるに当たり、正確な基本情報を獲得することの重要性、及び獲得情報をもとに批判的精神を持って政治的意思を持ち、民主主義社会に参画することの重要性を自覚する。
到達目標	？ 「二重の基準」の理解 ？ 自由権と社会権の違いの理解 ？ 直接民主制と間接民主制の得失の理解 ？ 自由主義と民主主義の理解と実践

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
憲法の精神の基本的理解を自らの言葉で表現できること	一般的な文書作成能力	定期試験

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第1回授業内容	概説	ガイダンス、公共の福祉	目安時間	同上。15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第2回授業内容	新しい人権①	法人の人権享有主体性、未成年者の人権	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第3回授業内容	新しい人権②	外国人の人権	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第4回授業内容	新しい人権③	プライバシー権、自己決定権	目安時間	同上。15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第5回授業内容	法の下の平等	平等原則について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第6回授業内容	信教の自由	政教分離原則について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分

・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第7回授業内容	表現の自由①	二重の基準について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第8回授業内容	表現の自由②	プライバシー権、名誉権との関係	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第9回授業内容	表現の自由③	知る権利について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第10回授業内容	平等原則	投票価値の平等、その他について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第11回授業内容	財産権	営業の自由	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第12回授業内容	生存権、教育権	自由権と社会権について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第13回授業内容	統治機構総論	直接民主制と間接民主制について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第14回授業内容	政治部門	議院内閣制について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第15回授業内容	司法権、地方自治	司法の独立、地方自治の本旨	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
学修時間合計・・・			450分	

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	論述式試験による相対評価。但し、落第は絶対評価による。
レポート課題		
上記以外		
ループリック添付ファイル	無	
成績評価備考		
その他授業外学習	常日頃から、時事トピックに関心を持つておくこと。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考

いちばんやさしい憲法入門	初宿正典他	有斐閣アルマ	978-4-641-22150-5	
憲法判例集（第11版）	野中俊彦、江橋崇編著	有斐閣新書	978-4-641-09160-3	
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	新聞、雑誌などを通じて、政治社会に興味を持っていること。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	
関連する画像・文章・動画URL	

シラバス	
授業概要	夏季休業中の約3週間、英語圏で一般英語コースを受講する。 2025年の行き先は米国オレゴン州ポートランドで開催される。 授業は、午前の英語学習と午後の選択科目（ボランティアやポップカルチャーから一つ選択）の受講を想定している。週末には、大学周辺地域へのフィールドトリップ（別料金）も想定。 現地の滞在はホームステイ（現地の一般家庭）を予定している。出発までに数回の研修を実施する（後日通知、出席必須）。この科目は学生自らが履修登録をするのではなく、後日USPoで掲載する応募用紙に記入の上、国際化推進室に提出すること。
到達目標	英語によるコミュニケーション能力の向上、国際感覚の涵養、異文化理解の促進および課題発表会におけるプレゼンテーション能力の向上。

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		

レポート課題		
上記以外	100	帰国後に行う発表会
ループリック添付ファイル		
成績評価備考	帰国後に発表会を開催し、与えられた課題に従った発表をPPTで行う（100%）。発表会開催日、および発表課題は後日通知。成績評価は「認定」。	
その他授業外学習		

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考	教科書なし。事前研修で必要に応じて資料配布あり。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	現地での授業等は全て英語で行われるため、受講者は英語で質疑応答が出来る語学力と積極性が求められる。定員は15名とし、応募者多数の場合は語学力に応じて選抜を行う。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	現地でのホームステイを通して、その国の日常生活を体験するとともに、日常英語会話力の向上も期待できる。
関連する画像・文章・動画URL	